

令和2年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	11-	2
事業名	農業委員会経費	
会計	款	項 目
一般	6	1 1
施策	5 賑わうまち	課名 産業課
	5-1 働きがいのあるまちをつくる	係名 産業振興係
	5-1-1 農業の振興	
主要施策	①農業生産基盤の充実	②担い手の育成・確保

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	農地所有者、担い手農家	目的 (対象がどのような状態になっているか)	意欲ある農業経営体への農地集積、新規就農者及び担い手の確保・育成を図り、経営規模の拡大と耕作放棄地の解消に努めます。
事業内容	農業委員会法改正により、農業委員会が取り組む最も重要な業務として位置付けられました「農地等の利用の最適化の推進」業務を農業委員及び農地利用最適化推進委員と連携して取り組みます。 ○農業委員・・・毎月1回定例会を開催し、農地法に基づく農地転用や売買、貸し借りなどの許認可等の法令業務及び現地確認調査を行います。 ○農地利用最適化推進委員・・・担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、担い手の育成、新規参入の促進など現場活動を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度(目標)	
	1	担い手への農地集積率	57.49	57.87	59.94	%	↑	58.00	
2	耕作放棄地面積(解消面積)	0.00	0.00	0.00	ha	↑	1.00		
3									
4									
5									
			令和元年度(決算)		令和2年度(決算)	令和3年度(予算)			
全体事業費(千円) A+B			10,379		10,330	15,255			
財源内訳	直接事業費 A		2,459		2,410	7,335			
	うち一般財源		2,378		2,334	7,260			
人件費(千円) B			7,920		7,920	7,920			
内訳	一般職員(人・千円)		1.20		7,920	1.20	7,920	1.20	7,920
	臨時職員(人・千円)		0		0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画		③取組の課題	将来を見据えた農地の在り方について、農業委員会が主体となり、地域ごとで「人・農地プランの実質化」に向けた取り組みを積極的に推進する必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回農業委員会定例会を開催。 ※法令に基づく許認可等の業務及び現地確認調査 農地利用状況調査の実施(年1回) (一社)三重県農業会議主催の研修会参加 ※桑名市・いなべ市・東員町合同研修会 	④今後の改善計画	人と農地の問題対策について、農業委員会で定めた地区協議会を活用し、各地区における課題や解消方法等の情報共有を図り、地域での活動に繋げる。